



ようらん
揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

★11月10日(日)～12日(火)「二年沖縄修学旅行」直前に首里城火災の報道があり、一抹の不安の中で始まりましたが。初日の平和学習(平和祈念公園～ひめゆりの塔～入壕体験)二日目の自然体験学習(マリンスポーツ～美ら海水族館)や仲間との二泊三日の宿泊体験をとおして成長した生徒たち。青い海と青い空の下で育んだ感性と友情は、これからの高校生活を一層有意義なものにすることでしょう。



★11月11日(月)「錫工芸に挑戦」

中条地区でカフェとアトリエを営む**金属造形作家の角居康宏さん**のご指導で、アートに挑戦です。ずらり並んだ作品に魅せられて、今回はブレスレットや指輪づくりを楽しみました。次は「錫の酒器」に挑戦?です。



★11月12日(火)25(月)「大豆・さつまいも・大根の収穫とカブトムシの冬支度」



大豆の畑には、淡い冬の日差しが注がれて、すっきりとした初冬の光景です。隣の畑で中条中学の生徒たちも収穫作業をしています。脱穀した大豆を味噌や豆腐に加工します。



中庭では大根とサツマイモの収穫です。カブトムシの幼虫の越冬場所の準備もこの時期です。
【生徒の感想】・いつから機械で収穫するようになったかわからないが昔は手作業で大変だったろう。・泥つきの大根を見ると冬の気分、おでんが食べたい。焼き芋も食べたい。・小さい芋を見ると、なんだあと思うけど、お前も頑張ったんだなあという気にもなる。・カブトムシの幼虫を初めて見ました。なんかかわいかった。・1年間いろいろやってさすがチャレンジの授業というだけあった。

